

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表			事業所における自己評価結果		公表日
放課後等デイサービス e g g							令和7年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	わからない又は無回答	工夫している点・課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	0%
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	0%	保育士・教員・児童指導員等、経験を重ねた職員達が在籍している。資格や経験を活かした関わりができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	0%	ワンフロアで仕切りがなく、小さな児童さんたちもあんなに過ごす事ができている。玄関前とトイレ入口に段差があるが、玄関横にはスロープもある。活動内容と担当、グループを毎日ホワイトボードに提示するなど、児童さんたちにもスケジュールが分かるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	0%	毎日の清掃と定期的な消毒を行っている。季節に応じて、電気カーペット・加湿器・空気清浄機等も使用し、時間毎の換気も継続している。玩具等の物品は棚に明記したり、児童さんたちが取り出しやすい様な高さになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	0%	基本的には、ワンフロアの空間であるが、仕切りをするなどの工夫をしながら、快適に過ごす事ができるようにしている。また、必要時には事務所や休憩室等を開放し、スタッフと共に過ごす事ができるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	0%	毎日のミーティングや会議等で振り返りを行い、児童さんの変化や成長を共有している。また、個別支援計画書に基づいた記録を週に1回は残して、振り返りの機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	アンケートの結果を受け、職員間で共有し、今後の活動や方向性について話しあっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	常に情報交換ができる環境であり、その時の児童さんの状況などを共有しながら、活動や関わりにおいて改善できるように務めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	28.57%	28.57%	42.86%	第三者による外部評価は行ってない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	定期的な社内研修を行っている。外部研修は時間が取れず、なかなか参加できていない現状であるが、体制作りができれば、積極的に参加していきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	0%	ホームページのINFORMATIONからいつでもみることができるようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	0%	子どもの意思を尊重した上で日々関わり、定期的な保護者との面談以外にも、変化がある時は連絡をし、どう関わっていくかを保護者と話し共有している。本人の置かれている環境や成長の段階も見極めながら、小さなできた！を積み重ねていけるような支援内容にしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	0%	原案を作成したあと、会議の中で本人について各職員も感じている事、その子にとって必要だと感じている事などをだしあい、支援の方向性を決定している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%	計画書は職員がいつでもみることができるようになっていて、計画に基づいた記録を行う際には必ず振り返りながら記載している。日々のミーティング等においても、目標を明確にしながらか支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	0%	それぞれの児童さんの興味、関心を持っている事をできるだけ深めていく事ができるようにしながら、新たな興味をひきだしていく事ができるように関わっている。また、個別に取り組んでいる事についてはその時の様子を含め、できた事、できなかった事を個別のノートに記入し、みんなで分析しながら、取り組みを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	0%	児童さんたちの特性を含め、全体像を把握しながら、保護者や本人の意向も取り入れた上で、立案している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	0%	事前に児童さんの特性に合わせた活動プログラムを職員間で話しあい、その日のグループをみて当日の活動内容を決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	0%	同じ活動が続かないよう、日々児童さんたちの興味・関心があるものは何か、情報を収集しながら、様々な角度からアプローチできるように心がけ、活動を展開している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	0%	児童さんの発達状況やスピードはそれぞれで違うので、個別に取り組む事ができる時間を設けて支援し、また、集団での活動にも参加できるように工夫している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	0%	日々のミーティングで、最近の児童さん達の様子を意見交換しながら活動内容を決定し、注意事項も踏まえて役割分担している。また、職員間で連携できるよう、チームワークを大切にしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	0%	支援終了後は、その日あった出来事を話し合う事で共有している。その日、出勤でない職員には出勤時に伝達するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	活動記録用紙があり、事業所控えを作っている。それを基に今後の支援に活かしている。記録漏れがはいかはチェック表を作成し、日々管理している。
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	定期的に保護者に事業所にきていただき、モニタリングを実施している。じっくりと話しができるように時間に余裕を持って設定している。また、話しの内容や結果は必ず、職員間で共有し、活動、支援に活かしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%	0%	児童さん一人一人の特性に合わせて、活動プログラムを組み、必要な支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	0%	活動のグループは予め分けているが、子どもたちの意見を最優先に取り組んでいる。
	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0%	管理者・児童発達管理責任者が体調不良時以外は必ず、参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71.43%	0%	28.57%	定期的な会議で情報を共有し、今後の支援にむけて連携できるようにしている。また、学校とも日々子どもの様子を伝えあいながら、支援において統一した方がいい内容について話す機会を設ける事もある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	0%	下校時間等については、保護者を通して、確認、変更時の連絡を行っている。学校との情報共有について、イベント等の開催前後はその子の様子を伝えあい、共有できるよう心掛けている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	0%	利用決定後、児童発達支援事業所やOTの方から情報を提供してもらおう事もある。必要時は連絡をとり、対応の仕方を学ぶ事もある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	0%	障がい福祉サービス事業所からの情報提供の依頼等あれば、積極的に伝えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	28.57%	28.57%	42.86%	困りごと等ある時は、その都度相談支援員の方に連絡をとり、状況を報告し、アドバイスをもらったり、様々な調整を行っている。専門機関等からの助言や研修を受けたいと思っている。受ける事ができる環境が整ったら、積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	71.43%	28.57%	0%	外出先で、地域の子たちと一緒に遊んだり、交流できる事も多い。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	42.86%	0%	57.14%	自立支援協議会等からのお誘いがあれば、今後も積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	活動記録用紙、連絡帳以外にも、送迎時には、必ずその日の様子やちょっとした変化を口頭でもお伝えしている。保護者も気になる事があれば、いつでも連絡がとれるようにしている。支援の際に困った事、気になる事がある時は、直接電話で話しをし、ご家庭や学校での様子も加味しながら今後に活かせるようにしている。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57.14%	14.29%	28.57%	家族等の参加できる研修の機会はないが、研修の案内等、家族向けの研修の案内等あれば、情報提供を行っていく。対応力の向上を図る観点からは、対応に困っている等の相談や連絡をした時は、事例を話しながら、お子さんにとってよい対応方法を一緒に考えるようにしている。また、できなかった事ばかりを話すのではなく、できた事、成長している事にも目をむけられるような話しを心がけている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	0%	契約時に説明を行い、質問等あれば、その都度説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%	児童さんの気持ちを尊重しながら、子どもの様子がいつもと違うと感じた時には、本人に話しを聞くと共に、保護者へ連絡をとり、現状を伝えるようにしている。成長に伴い、子どもが物足りなさを感じたり、悪い事など他の事がしたくなる時期がきた時は、こちらからも、後押しできるようにし伝える。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	0%	モニタリングの後、本人、保護者の意向をしっかりと踏まえ、今、e g g で取り組む事ができる事を具体的に話し作成、支援内容を分かりやすい言葉で記入、説明し、計画書にサイン、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	変わった様子があれば、連絡を取り合い、現状を話す機会を持っている。その上で、こちら側が支援における関わり方を相談する事もある。また、その中で子育てに対する相談等あれば、類似ケースを話したり、必要時は家族の了承を得て相談支援専門員に連絡する事もあ
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	28.57%	28.57%	42.86%	以前、家族参加型のイベントを何度か行った事もあったが、なかなか集まらないという現状がある。それぞれの生活スタイルが異なるので、実現は難しい部分もあると思うが、要望等あれば検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	日々、その日の出来事はありのままを伝えている。苦情の対応については、いつでも連絡がとれる体制を整えている。また、契約時には、苦情受付の相談窓口も紹介している。気になる事があれば、電話で連絡を取り合い、迅速に対応できるようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	ホームページにて、毎月e g g 通信を更新している他、活動の様子をブログにアップしている。

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	個人情報は事務所内で管理し、十分注意している。
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	保護者の方と、いつでも連絡連絡がとれるように、事務所不在時には携帯電話へ転送できるようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	28.57%	71.43%	0%	地域住民の方を招待する程の大きな行事はできていない。開催にあたって、資料等あれば行ってみたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	85.71%	0%	14.29%	職員はいつでもみることができるよう、事務所書棚に置いている。保護者の方にはマニュアルがある事を契約時に伝えるようにしている。今後も発生を想定した訓練を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	0%	業務継続計画を策定し、定期的に訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	0%	契約時には、必ず確認するようにしている。また、発作時の対応については、保護者とどう対応するかを確認をとっている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	0%	食物アレルギーのある子については、予め保護者から聞き取りを行っている。基本的には昼食持参であり、今後も必要時は医師の指示書に基づく対応を実践していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	0%	安全計画に基づいて、研修や訓練を行なっている。また、日々の支援の中では、安全を第一に考えた上で活動を実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	0%	子どもの特性を保護者からしっかりと聞き取りながら、支援につなげている。また、安全管理における子どもの行動等について、特に気をつける点等は保護者を共有している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	0%	ヒヤリハットが未然に防ぐ事ができるよう、日々、職員間で子どもたちのおかれている環境を含め情報を共有し、気がけている。目立ったヒヤリハットはないが、気になる事はすぐに対応し、統一した関わりを持つようにしている。また、保護者からの相談があった場合は記録として残している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	虐待に関する研修も実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	0%	身体拘束における研修を実施している。やむを得ず身体拘束を行うような子どもの利用はないが、子どもたちが落ち着いて過ごす事ができるように今後も努めていく。	